

古里への熱き思い「ふるさと都路会」



ふるさと都路会の総会が6月30日、東京都台東区上野のホテル・パークサイドで開かれ、会員や来賓など55人と会員の親族2人がゲストとして出席しました。総会では、ふるさと都路文庫寄贈の目録が渡辺会長から富塚市長に手渡され、富塚市長が「ふるさと都路文庫寄贈事業は毎年行われており、ふるさと都路を想う会員の皆様の温かい心に感謝申し上げます」と御礼を述べました。

懇親会では、例年恒例となっている豪華景品とふるさとの特産品が当たるビンゴゲームが行われ、全員がゲームを楽しみ盛り上がりました。

ふるさと都路会の総会が6月30日、東京都台東区上野のホテル・パークサイドで開かれ、会員や来賓など55人と会員の親族2人がゲストとして出席しました。総会では、ふるさと都路文庫寄贈の目録が渡辺会長から富塚市長に手渡され、富塚市長が「ふるさと都路文庫寄贈事業は毎年行われており、ふるさと都路を想う会員の皆様の温かい心に感謝申し上げます」と御礼を述べました。

大越で「ふれあいウォーキング」開催



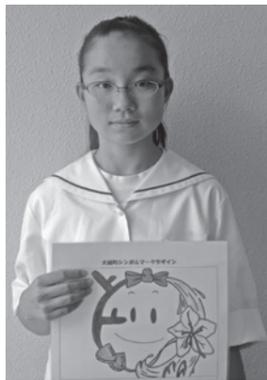
大越まちづくり協議会(菅野輝夫会長)主催のふれあいウォーキングが6月29日に開かれ、313人が参加しました。当日は朝から小雨模様でしたが、開会時にはすっかり上がり、爽やかな風がそよぐウォーキング日和になりました。

コースは、おおごえふるさと館をスタート・ゴールする3キロと7キロの2つがあり、参加者は自分の体力に合わせて選び、思い思いのペースで楽しみました。

ウォーキング終了後は参加者全員に、おにぎりとお汁が振る舞われました。豪華景品が当たるビンゴゲーム大会もあり、会場は大いに盛り上がりました。参加者の皆さんは、日頃の疲れを癒し、心身ともにリフレッシュできた1日となりました。

また、大越まちづくり協議会が募集したシンボルマークコンクールには、大越小学校や大越中学校などの協力で227点の応募がありました。同会場で優秀作品の表彰が行われ、入賞者にはJAたむらから、福島県産牛肉が副賞として贈られました。入賞者は次のとおりです。

- 最優秀賞・木村香珠(大越中2年) 写真右
- 優秀賞・熊谷知映(団体職員) ●優秀賞・三本木美紗(大越小2年)



高齢者を狙う犯罪に注意!



都路公民館主催の福寿草大学開講式が6月3日に開かれ、式終了後、第1回定例講座が行われました。

講座では、一人暮らしや高齢者を狙った悪質な振り込め詐欺、悪質商法の対策などを学びました。

身近に起こり得るテーマに、受講生は熱心に質問していました。また、被害に遭わないように「いきりません、断ります、帰ってください」を合言葉に、今後も気を付けようと話し合いました。

震災に負けず頑張ろう!



大越公民館事業のふれあい学級が、6月14日にいわき市方面の視察研修を行いました。

参加した学級生は東日本大震災から2年数カ月が過ぎてなお、復旧復興が進まない沿岸部を見学し、被害の大きさを痛感していました。土台だけが残された住宅地区を目の当たりにすると、涙する人もいました。また、再オープンしたアクアマリンふくしまでは、戻ってきた海の生き物たちを見学し、これからも「がんばれ! がんばろう!」との思いを新たにしていました。

親子で楽しく映画鑑賞



大越公民館「のびのびチャレンジスクール」の第1回事業として開講式・映画鑑賞会が6月22日、同公民館で行われました。

児童と保護者など26人が参加し、映画「おおかみこどもの雨と雪」などを鑑賞しました。

心身ともにリラックス



常葉公民館の寿学級「筋力アップと転倒予防教室」が6月7日、文化の館研修室で行われ、19人が参加しました。西山由紀さん(郡山市)のユーモアを交えた講話と実技指導に、学級生は体も心もほぐれて笑いっぱいなしの2時間でした。

いにしへの暮らしを体験



都路チャレンジ教室と常葉アソベンチャークラブが合同で6月15日、「まほろん出前講座」を常葉公民館で開きました。教室では、縄文~古墳時代の勾玉作りや火おこし、弓矢体験に挑戦しました。

参加した児童は、古代史やその時代の人々の暮らし、知恵・技術を体験でき、今と昔の違いを肌で感じていました。

憧れの美文字に挑戦



常葉公民館の寿学級「マナー教室(筆ペンを学ぶ)」が7月2日、文化の館ミーティングルームで行われ、17人が参加しました。橋本恵美子さん(船引町)を講師に招き、のし袋のマナーの話の聞いたり、筆文字の実技指導を受けたりしました。学級生は熱心に聞き入り、のし袋の水引には意味があることを学び、納得していました。